



それぞれの選択

小学5年生から中学3年生 選べるコース

NEW

部活動もクラブチームも習い事も関係なく自分の‘学びスタイル’を確立できます！

学習曜日：月曜日～金曜日まで

(土曜日は英検指導・教科別特訓・テスト対策などの指導に充てます。)

学習時間：A時 17:00～19:20

B時 19:40～22:00

※標準時間は小学生 90分、中学生 120分以上

指導方法：集団個別指導

16名の生徒を2人の先生が担当します。

選択例

- ・部活があるので月・水・金のB時で学習。
- ・部活に入っていないのでA時で学習。
- ・習い事がある2日はB時で、習い事のない1日はA時で学習。
- ・次の習いごとがあるので17:00～18:30まで(90分)学習。(小学生)

個別指導コース 2:1

学習日数：週1日又は週2日(月4～8回)

学習時間：80分

A時 18:40～20:00

B時 20:10～21:40

学習科目：英語と数学の2科目又は1科目

高校生コース

自立学習コース 月曜日から土曜日まで
集団個別指導コース

【国分校】

火曜日 理科・数学

木曜日 英語

【隼人校】

火曜日 英語

金曜日 理科・数学

2023年度 入試情報

～中学英語の難化が進む～

「なんか英語が難しんだよね」などお子様の声を聞かれたことはないでしょうか。そうなんです。2021年の教科書からかなり難しくなってきました。たぶん学校の先生方も定期テスト作成でご苦労されていることと思います。もし、教科書レベルのテスト問題を作成するとしたら、平均点が40点前後の低い点数になるのではないかと予想されます。高校入試の平均点でもその難化が見て取れます。R3年度が53.1点だったものが、R4年度になると39.6点と10点以上の差がつかしました。これは驚きでもありましたが、残念ながら想定内だったとも言えます。

さて、この難しくなった教科書をどう易しく深く、そして楽しくして、実力を伸ばしてあげられるかが教える側に求められています。

～私立高校入試がやばい'ことになっている！～

私立高校と言えば、今までは公立高校が不合格になった場合の受け皿的なイメージが強かったかもしれませんが、しかし、ここ数年前から私立高校の人気の高まり、第一志望校と考える人も増えてきました。今年の入試はこれを物語るような結果になっています。

鹿児島市内のA高校は、競争倍率が約1.5倍の高さでした。3人に1人は不合格だったことになりま。

B高校は昨年に続き合格点を引き上げ、約600名が不合格となりました。決して進学系の話ではありません。転科合格も、専願制的な利点はもはやないに等しいのです。

公立と私立の学費の面で、あまり大差なくなった現況では、なおさらこの傾向は続くことはほぼ間違いなさそうです。

～鹿児島高専の入試～

推薦選抜は、2年次の1学期から3年次の2学期までの成績が反映されます。評定は9教科すべてが対象です。早くから定期テストを頑張っておかないと評定が条件に達しない可能性もあります。

学力選抜では、数学が200点と大きい比重を占めています。問題の難易度も高いため難しい問題に早くから取り組む必要があります。また、各教科とも文章量が多いので読むスピードや計算力も問われます。

速報 今年度の鹿児島高専の受験者4人

第一志望学科に全員合格！

以下の内容は鹿児島工業高等専門学校「令和5年度入学者募集要項」より抜粋。

・学力選抜はマークシート方式。数学200点、国語、英語、理科各100点の合計500点満点。
R5年度鹿児島高専志願者状況

学科	定員	推薦選抜(※1)			学力選抜				倍率
		志願者	合格	倍率	定員	志願者	合格	倍率	
機械工学科	40	22	20	1.10	20	41	22	1.86	1.53
電気電子工学科	40	26	21	1.23	19	31	21	1.47	1.30
電子制御工学科	40	26	20	1.30	20	47	22	2.13	1.73
情報工学科	40	49	21	2.33	19	49	21	2.33	1.80
都市環境 デザイン工学科	40	20	20	1.00	20	31	22	1.40	1.28
合計	200	143	102	1.40	98	199	108	1.84	1.53

(※1)推薦合格者定員は、各学科20名程度。

上記の数値はR5.2.20時点での数値で算出。